

# わが家のアイドル



犬木 萌 ちゃん  
「1人で歯磨き  
できたよー!」  
(大野原)



星野 煌牙 くん  
「ごちそうさまあ?冗談  
でしょ!おかわり!」  
(大野原)



大久保陽結 ちゃん  
「にこにこ笑顔♡  
いつも癒しをありがとう」  
(大野原)



千島 詩 ちゃん  
「にいに、ねえね、  
大好き!」  
(中村町)

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで。)抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

夢をかなえる 未来にはばたく

## 秩父地域の高校

### 「農業科2年連続S-GAP取得」

秩父農工科学高等学校

農業科は3月11日にイチゴ、ウメ、クリのS-GAP実践農場として認証されました。昨年度は温室トマト、ブドウを取得しており、これで5品目のS-GAPを取得することができました。



S-GAPのGAPとは「Good Agricultural Practice」の略であり、直訳すると「良い農業のやり方」のことです。農業に関する法律や規則、モラルを守ることにより、食品安全、労働安全、環境保全それぞれに配慮した持続的な農業経営を目指す取り組みです。頭文字のSとは埼玉県とのSであり、埼玉県独自の基準に対応した安全認証です。

今回課題となったのは、農薬の散布に関する基準をクリアすることでした。昨年度から始まったイチゴ栽培ではハダニの被害が深刻で農薬散布の回数が多くなりましたが、今年度は和銅農園に勤めている卒業生と連携を図り、効率的なハダニの防除方法や減農薬に関することを教わり、少ない農薬で病害虫が発生せずに収穫にこぎ着けることができました。

S-GAP取得には、今春卒業した農業科3年生が中心となって取り組みました。食品製造関連に就職した生徒は、「GAPなどの安全認証があることを知り、食べ物に対する安心感を学ぶことができたので、食に携わっていく職業人としてGAPを広めていきたい。」と話していました。



## 市民文芸

### 短歌

凍てる朝触るもの皆割れそうでガラスのごとく指先痛し  
寝たきりの義母の手をとりネイルするきれいきれいと子供のように  
夏みかん三度茹でこぼしジャム作り砂糖増やすもすっぱさ残る  
不精髭マスクで隠し長寿会フレイル予防を学び帰りぬ  
病みて伏す友や家族の励ましに生きる喜び身にふつふつと  
首輪ゆるめくつろぐ犬の還暦に赤飯炊いて吾も肖る  
受け取り印省略をして足ばやに宅配便の人帰り行く  
検温と指の消毒マスクして個室の夫を見舞う午後三時  
万年青の実ぎつしりついた赤い粒鳩が食べてた逃げもしないで  
犬の名を何回聞いても忘れちゃう曾孫にそっと教えて貰う  
〔評〕石橋さん、冬の寒さを、割れそうな痛みに結びつけた詩的発想に感心しました。西さん、すてきな一首です。浅賀さん、ジャムを作ろうとする熱意を強く感じます。新井さん、「フレイル(虚弱)」とは、健常の状態から要介護になる中間を言い、「予防」とは要介護にならないように気をつける行動のことで、自粛の日々、前向きな生き方をしていることがよく分かります。柏木さん、下の句に心温まります。山中さん、まさに一心同体ですね。齋藤さん、新型コロナの影響なのでしょうか。津久井さん、一日も早い回復をお祈り致します。加藤さん、鳩に注ぐ愛情が豊かですね。木村さん、下の句からほほ笑ましさも伝わってきます。

※次回6月号は俳句を掲載します

### 綾部 光芳 選

久那 石橋その子  
道生町 西 弓子  
下影森 浅賀 ツネ  
上野町 新井要次郎  
上 町 柏木 幾江  
三 峰 山中 資治  
吉田久長 齋藤 大仙  
寺 尾 津久井百合子  
日野田町 加藤しげ子  
桜木町 木村 一枝

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

短歌 5月末締切→7月号に掲載  
俳句 6月末締切→8月号に掲載